



みつけ通信

〒927-1222

珠洲市宝立町鶴飼丑部 83 番地
TEL 0768 (84) 1106・1119

教育目標：ふるさと宝立の自然や人に学び たくましく生き抜く子の育成

校章や校歌に込められている願いや思い

校長 倉見 淳

先日の全校集会で、児童生徒に宝立小中学校や前身の宝立小学校、宝立中学校のことについての紹介をしました。宝立小中は開校して14年になります。8年生が生まれた頃に学校が始まりました。多くの子どもたちは、もう以前の宝立小や宝立中を知らない世代です。今の小中学生に以前の宝立の学校のことを少しでも知ってもらいたいなと思い準備を始めました。

調べてみるといろいろ分かり、私も勉強になりました。宝立小中の校章は、宝立小のものにデザインが似ていることや、宝立中の校章は、かつての宝立町の町章をアレンジしたものであることを知ることができました。子どもたちには、宝立町には以前に5つの小学校があったこと、中学校も複数あり分校などもあったこと、宝立小で一番児童数が多かったのは、昭和37年の771人だったこと、宝立中でも昭和37年の576人が最多で、3年生は5クラスあったことなどを紹介しました。

全校集会は時間が限られていて、その他の紹介したい内容に触れることはできませんでした。それが、学校の校章と校歌です。どちらも学校にはなくてはならないものであり、校章にはデザインに、校歌には歌詞に、学校の願いや思いなどが込められています。

宝立小中学校 校章



■5枚ある花びらは、鶴飼・鶴島・柏原・小屋・馬渡の5つの小学校が統合された宝立小学校のデザインを引き継いだもの。

■花びらの中にあるめしべは、一貫校の前期・中期・後期を表現し、めしべの高さが、大・中・小となっている。

■「宝」の文字は、見附島をイメージした形。「宝」の文字の下の波は、日本海の波を表現している。また、別に、学校、家庭、地域の3つを表現し、躍動感を持たせ、地域のうねりによって地域の宝を支えて欲しいとの意味が込められている。

■円は地域を表し、将来世界へ羽ばたいて欲しいとの意味を込め二重円となっている。
(学校沿革誌より)

宝立小中学校校歌

作詞 寺井幸子
作曲 鈴木敬

一 見付の海に 朝日さし

永遠の鐘の 鳴り響く

潮風薫る 学園に

宝立の友 朗らかに

仲良く学ぶ 九九年

二 遥かな峰に 清き水

里の自然の 豊かなる

珠洲の誉れの 学園に

宝立の友 健やかに

郷土を学ぶ 九九年

三 古来栄えし 能登半島

未来の地図を 描こうよ

希望の星の 学園に

宝立の友 夢いだき

世界に拓く 九九年

世界へ羽ばたけ

宝立小中学校

校章や校歌からは、学校も地域も共に宝である子どもたちを支えて欲しい、子どもたちは朗らかに、健やかに、仲良く学んで欲しい、そして、世界に羽ばたく人になって欲しいという願いが込められていることがわかります。これらは、学校として現在も特に大切にしている考え方となっています。

◇租税教室 5・6年生

1月26日（月），輪島税務署の方を講師にお招きし，税について教えていただきました。子どもたちにとって身近な税は消費税ですが，50種類ほどの税金があることや教育にもたくさんの税金が使われていることを知ることができました。また，1億円の重さも体験させていただきました。学びの多い貴重な時間となりました。教えていただき，ありがとうございました。



◇ふるさと珠洲科学習発表会 全校児童生徒

1月31日（土），ふるさと珠洲科学習発表会をしました。ふるさと珠洲科の目標は，「ふるさと宝立や珠洲の自然・文化・産業・人に学び，ふるさとへの愛着と誇りを育むとともに，学年に応じた学び方や考え方・表現する力を身に付け，よりよい自己の生き方を考える」です。各学年のテーマに沿って，自分たちで課題を発見し，様々な体験活動や探究的な活動を通して学んだことをまとめ，発表しました。学習を進めるにあたって，たくさんの方にご協力いただきました。おかげで，どの学年もとても素敵な発表で，この学習を通して大きく成長することができました。参観された地域の方々，保護者の方々からもお褒めの言葉をいただきました。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



3・4年生「宝立の自慢」



1・2年生「珠洲市の特産物」



5・6年生「人と歴史」



8年生
「珠洲のよさと諸問題」



9年生
「珠洲の未来への提言」

参観者の方の感想（一部抜粋）

参観ではなく私自身が勉強させてもらいました。子ども達の探究心に感心するばかりです。宝立町のことを子ども達に負けないよう大人が考えなければと思いました。（地域の方）

地域の方々との関わりを通して，珠洲、宝立の魅力が学ぶことができとても素敵な授業の一環だと思います。大勢の参観者の前でも堂々とした発表，すばらしかったです。（保護者）

どの学年も自分たちで調べたり，地域の方に聞いたり興味をもって調べ，発表できていたので良かったです。（保護者）

9年生の提言はとても参考になった。また，宝立町のために力になりたい，復興に関わっていききたい，本当に町のことが好きなんだなあ。子ども達の熱量を感じることができた。（地域の方）

◇お店やさんごっこをしました！ 1年生

2月5日（木）、国語科の「ものの名まえ」の学習を生かして、ものの名前を使ったお店やさんごっこをしました。6年生をお客さんに招きました。「いらっしゃいませ」「アレルギーはありますか」などの接客に、6年生も驚いていました。最後に、自分たちもお客さん役を体験するため、6年生にお店やさんになってもらいました。少しはずかしそうにしましたが、楽しんで学習できました。



◇宿泊体験学習 5・6年生

2月9日（月）、10日（火）、宿泊体験学習を行いました。9日は、柳田植物公園でスキーを体験しました。能登少年自然の家の職員の方に基礎から教えていただきました。12名全員が初めての体験でした。転んだり、スキー板が外れたりとは最初は難しそうにしていたのですが、練習をするにつれ、どんどん上達していきました。10日は、輪島漆芸美術館の見学、工房長屋での沈金体験をしました。ふるさと珠洲科で学習した珠洲焼と輪島塗の共通点や相違点について学ぶことができました。子ども達の振り返りからも貴重な体験となったことが分かります。自分たちで夕食づくり、朝食づくりをしたことも良い思い出となったようです。



スキー学習



輪島漆芸美術館見学



職人さんのお話
(工房長屋)



沈金体験（箸）

◇レジンクラフトづくり、頑張っています 8年生

ふるさと珠洲科学習発表会で紹介したレジンクラフト。とても素敵な作品になっており、第1弾で作った作品がすでになくなり、只今第2弾を制作しています。8年生は、地域の魅力の一つである海藻の良さを広く伝えようと、海藻を入れたレジンクラフトの制作に取り組んでいます。完成した作品は、他地域から訪れた方々に手渡すことを目的としており、現在は合計100個の完成を目標に制作を進めています。「珠洲には海藻の魅力があることを知ってほしい」「この活動を地域の復興につなげたい」という思いを込めながら、一つひとつ丁寧に作業する姿が見られます。



◇なわとび大会 前期課程

2月13日(金), なわとび大会を行いました。競技は、短なわの部と8の字とびの部です。それぞれの学年で挑戦する技があり、この日のために休み時間も練習している姿が見られました。本番でその成果を発揮することができたでしょうか。また、桜団、青潮団に分かれて8の字跳びを行いました。結果は桜団の勝利でしたが、青潮団も健闘しました。1年生は、練習をはじめた頃は、なかなか入れなかったのですが、上級生からの合図のおかげでスムーズに入れるようになりました。子ども達の成長を感じました。



◇おまねき会 1年生

2月13日(金), 4月に入学する1年生のおまねき会をしました。この日のために、会のすすめ方や内容を自分たちで決め、役割を分担して練習しました。お兄さん・お姉さんとして良い姿をみせようとはりきっていました。自分たちが作ったおもちゃでゲームをしたり、学校のことを紹介したりと、新1年生に楽しんでもらうために工夫していました。



◇運動・スポーツ習慣化促進事業 全校児童生徒

2月17日(火), 県のスポーツ振興課の皆様のお世話で、ダンスやピククルボールをしました。今回で5回目。音楽に合わせて体を動かすこともラケットでボールを返すことも、回を重ねるごとに上達していきました。適度に体を動かすことは、とても気持ち良かったです。ありがとうございました。

3月の行事予定



1	日	
2	月	読書ボランティア 小中学生によるワークショップ 自学教科指定週間
3	火	学校保健委員会
4	水	全校集会
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	県公立高等学校学力調査
11	水	県公立高等学校学力調査 ブロック集会
12	木	卒業式予行練習
13	金	令和7年度卒業証書授与式
14	土	
15	日	
16	月	小中委員会(後期最終) たからっ子検定(計算)
17	火	
18	水	小中別集会 公立高校学力調査合格発表
19	木	6年生修了を祝う会 令和8年度前期生徒会役員選挙
20	金	春分の日
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	児童生徒集会・小中別集会 終業式・修了式
25	水	春季休業~4/5
26	木	
27	金	離任式
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

